

初めからあったもの、わたしたちが聞いたもの、目で見えたもの、よく見て手でさわったもの、すなわち、いのちの言について—このいのちが現れたので、この永遠のいのちをわたしたちは見て、そのあかしをし、かつ、あなたがたに告げ知らせるのである。 ヨハネ1:1-2



「錯覚の壁」

永遠の命とは、「超長生き」？ それとも「次元が違う」命？

人は自分が必ず死ぬことを知ると、宗教に答えを求めます。「必ず死ぬ私は、いったい何者なのか？」、「それなら、どう生きればいいのか？」と考える時、神にすがりつき、この永遠の問の答えを求めます。

しかし、「人は必ず死ぬ」という知識は、本当に正しいのでしょうか？そこに命への「錯覚」があるのではないのでしょうか？今月の例会は聖書の立場から、命を学びたいと思います。

■日時: 6月16日[木] 7時~8時30分

■場所: 京都アスニー (3階第3研修室B)

無料です。どなたでも自由にご参加ください。

聖書がはじめてでも、なるべくわかりやすくお話しします。
聖書やキリスト教への疑問や質問にも、出来る限りお答えします。
つづけて参加すると、聖書と世界の流れが見えてきます。
聖書が教えている、より良く生きる力についてお話しします。

はじめての聖書に学会

www.skk-kyoto.com

主催: 聖書研究会京都集会
連絡先: 075-462-8294(坂本)